

開催
テーマ

『ひょうごの縁、^{えにし}会うを楽しむ』

東京兵庫県人会の秋の恒例行事となっている総会交流会。第38回となる今年度は11月10日(木) 17時30分～20時50分、東京都文京区のホテル椿山荘東京で開催しました。

当日は、会員をはじめ兵庫県に縁のある方々、約350名にお集まりいただき、賑やかな雰囲気の中、ふるさとへの思いを語り合いました。

第1部

ふるさとの話題
(17時30分～18時30分)

《県政報告》

井戸敏三知事から「県政報告」として、兵庫県の県政や近況が報告されました。



井戸知事による県政報告

【概要】

●今年、兵庫県では大きな災害が発生しなかったが、台風が東北・北海道を襲いました。また熊本や鳥取では地震が発生し、県として支援を行いました。このような自然災害への備えとして、神戸市などと共に津波対策を推進しているところですよ。

●地方創生について、地方の側から「地方」とするのは主体性がないため兵庫県では「地域創生」と呼んでいます。H27とH22の国勢調査を比較すると5万人以上も人口が減少しており、その対応として自然減対策・社会増対策・本社機能移転・交流人口対策に取り組んでいます。

●今年5月に、神戸の白鶴酒造でWC(インターナショナル・ワイン・チャレンジ)2016「SAKE」部門の審査会が開催されました。

残念ながら兵庫の酒はグランプリ賞を逃したが、審査委員に山田錦の田植えを経験していただきました。今後は兵庫県でこの審査会を4年に1回ぐらい開催するともに、より世界に通用するお酒造りに徹したいと考えています。

●2021年に関西でワールドマスターズゲームズの第10回大会が開催されます。また、来年は日本スポーツマスターズ選手権が兵庫県で開催されます。いずれも登録すればどなたでも参加できるので、生涯スポーツを通じた健康づくりと、スポーツツーリズムの面から皆さまにもぜひご参加いただきたいと思っております。

《講演》

東レ株式会社の日 覚昭廣代表取締役社長から「『日本の経営とグローバル展開』―東レの経営方針と実践事例―」と題したご講演をいただきました。



日覚社長による講演

●東レは創業以来90年間にわたって革新的な先端材料を生み出すことで、新たな価値を創造し、事業拡大を続けてきました。

●長期の展望を持ち、10年、20年後に新たな素材がどのように活きる

のかという視点を持つことが重要です。例えば、人口増に伴う世界的な水不足を解決するための水処理事業、CO2の排出量削減を目指す炭素繊維による航空機などの軽量化などです。

●一方、革新的な素材は用途を提案しないと市場は作れないので、新たな素材と用途を提案し、賛同するパートナーと一緒に形にすることで市場の創造につながります。例えば、ユニクロやポイイングとの連携などです。

●東レでは創業当初から人材の育成を経営の最重要課題として取り組み、「人を基本とする経営」を実践してきました。国内外で社員の教育と研修に注力して、人材を育成してきたことが、東レのグローバル化、東レの経営を支えています。

●東レは「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」という経営理念に示すとおり、「企業は社会の公器」という考えのもと、東レ流の「人を基本とする経営」「素材産業として」「コア技術を核として」「長期視点での経営」を推進してきました。東レグループは、この基本的な考え方に沿って、倫理観の高い、日本の経営の良さを大きな強みとして、時流に迎合せず、本質を把握して、長期

ビジョンをもって、時代に適合することを念頭に、今後もグローバルに事業を展開していきます。

第2部
総会交流会
(18時40分～20時50分)

《総会》

太田颯衣幹事長から、議案の「平成27年度事業報告」、「平成28年度事業計画」



太田幹事長からの議案説明

についての説明がなされ、お集まりいただいた皆様の大きな拍手によって承認されました。

《交流会》

今年度も岡田三利さん(県人会幹事)、野村富美江さんのお二人の司会により、和やかにテンポよく会を進行的いただきました。

菅谷定彦県人会会長(株式会社テレビ東京顧問)の開会の挨拶、井戸敏三特別顧問(兵庫県知事)による挨拶に続き、藤田譲副会長(朝日生命保険相互会社最高顧問)の乾杯の発声から歓談へと移りました。



藤田副会長による乾杯の発声



菅谷県人会会長あいさつ



全員での合唱



ふるさと利き酒コーナー



瀬口侑希さん歌謡ショー

会場内で多くの歓談の輪が広がってしばらく経った頃、県人会・ののの会の代表者による活動報告、出会いサポート東京センター・カムバックひょうご東京センター関係者によるPR、ふるさと屋台コーナーに「白鷺」を提供いただいた岡本周治中播磨県民センター長



中播磨県民センター長ごあいさつ

侑希さんによる歌謡ショーが始まりました。瀬口侑希さんは軽妙なトークを交えながら、12月リリースの新曲「津軽の春」など4曲を熱唱し、舞台の幕が閉じられました。今年もふるさとグルメ屋台コーナー、ふるさと利き酒コーナーはじめ多くの団体に出展をいただき、会場を盛り上げていただきました。会も終盤に差し掛かった頃、恒例の県内市町等から寄せられた特産品等の福引抽選会が行われました。知



福引抽選会(藤田県議会議長)



出会いサポート東京センター・カムバックひょうご東京センターのPR



県人会・ののの会の活動報告

事賞、県議会議長賞、会長賞、瀬口侑希賞、椿山荘賞、但馬空港推進協議会長賞の抽選がステージ上であり、当選者が決まるたびに一喜一憂する声が場内に沸き起こり、会場は更に盛り上がりました。

最後に、会員の多田周子さんと企画委員などで構成した「ふるさとひょうご合唱団」による「ありがとうふるさと」の合唱に続き、兵庫ゆかりの歌「赤とんぼ」・「今日の日はさようなら」を多田周子さんとゲストの瀬口侑希さんのリードにより会場全員で合唱し、来年の再会を約束して、森島英一副会長(前佐世保重工業株式会社取締役相談役)の中締めによりお開きとなりました。



森島副会長の中締め

なお、来年度(第39回)の総会交流会は平成29年11月13日(月)、今年度と同じホテル椿山荘東京を会場として開催の予定です。

知事からいただいた歌

当日、井戸知事から会場の皆さまに披露された和歌をご紹介します。

東京でも

ふるさと兵庫忘れじと
同じ県人会して楽しむ